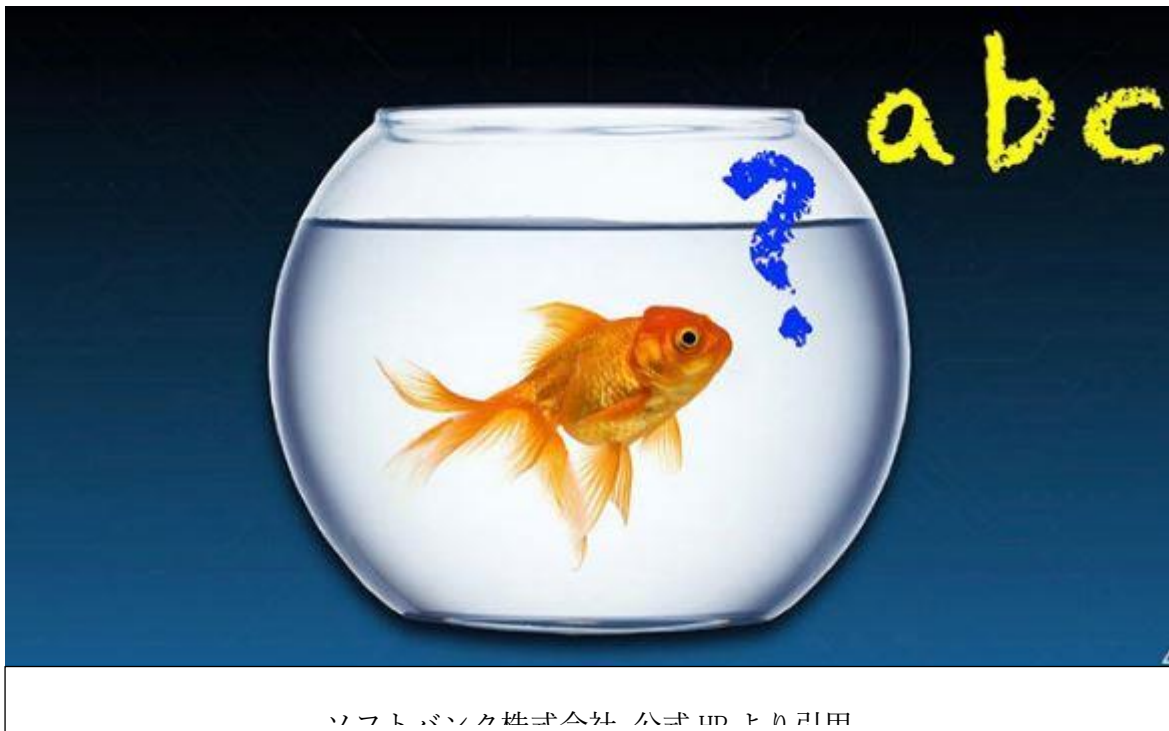


アントレプレナーの生き方 (5) ～孫正義氏 その3～

孫氏が見据える情報革命の世界。その「主役」とはいったい何なのでしょう。

2017年、孫氏は、「今起こっている情報革命は脳細胞、つまり知能の拡大である」と述べています。人と人だけでなく、人とモノが通信することで、巨大なビッグデータが無限に構築されています。「AIはビッグデータにより進化する。そしてそのデータを集約するのがチップ」だと説明しています。

2016年にソフトバンクグループが行ったある企業行動が大きな話題になりました。それは、イギリスのケンブリッジに本社のある「アーム」という企業の買収でした。なんと買収金額が当時の日本企業による海外企業買収としては過去最高規模の約240億ポンド(当時の為替レートで約3兆3000億円)だったのです。ソフトバンクグループは、なぜそんな大金を投じてまでアームという会社を買収したかったのでしょうか。2016年当時から、世界のスマホのチップの95%以上がアームがデザインしたものでした。孫氏は、今後世界中でますます増えていくであろうIoT(Internet of Things)の流れを読み、あらゆるモノの中にアーム製ベースのチップが入ることを想定したのです。ソフトバンクグループが買収してから7年後の2023年9月に、アームは米国・ナスダック市場に上場。初日の終値は約9.6兆円と、ソフトバンクグループが買収した当時の金額から3倍近い、大型上場に成功しました。



ソフトバンク株式会社 公式HPより引用

さて、孫氏は毎年、「SoftBank World」という全てのビジネスパーソンに向けたフェスでスピーチを行っており、私たちもYouTubeで見ることができます。昨年行われた「SoftBank World 2023」のテーマは、「テクノロジーの新潮流。今、世界が動きだす」でした。2023年10月4日に、孫氏が会場で特別講演を行っています。

講演のはじめ、孫氏は金魚の画像をプロジェクターに投影すると、「金魚に abc という単語を教えようとしても、金魚は abc が何かを理解できるでしょうか？」と会場に問いかけます。

「金魚にとって abc を覚えることは難しいことです。さて、知能の強さには2つの要因があります。1つはハードウェア、これはニューロンの数にあたります。もう1つはソフトウェア、つまり学習です。学習によって知能は鍛えられます。同じく AI も、ニューラルエンジンやチップなどのハードウェアの強さと、トレーニング(学習)、インファレンス(推論)で AI の強さが決まります」

さらに孫氏は続けて、「AGIが何か知っていますか？」と会場に問いかけました。ほとんど手が上がらない状況を見た孫氏は、「まず、(AGIを知らないことが)ヤバイということを知ってください」と警鐘を鳴らします。

「AGIとは Artificial General Intelligence の略称です。AGIは、人類叡智総和の10倍です。例えば将棋やチェスでは人間よりも AI が強くなるなど、特定のテーマではすでに AI が人間の知能を超えています。しかし、今はまだ全てのテーマで AI が人間を超える状況にはなっていない。AI がほぼすべての分野で人間の叡智を追い抜いてしまう、これが AGI のコンセプトです。この AGI の世界が今後10年以内にやってきます。そして、AGI の世界では全ての産業が変わります。教育も変わる、人生観も変わる、生きざまも変わる、社会のあり方、人間関係も変わるんです」

次いで、ChatGPT が画像を認識し、自転車修理の仕方を教えてくれるデモが投影されました。

「こういった生成 AI は、文章の作成だけでなく、映像や音楽、コード(プログラミング)、プレゼン資料作成など、さ

まざまに利用されています。『AI が人間より賢くなるわけがない、なぜなら人間がプログラミングしているんだから』という人がいますが、生成 AI はプログラムではない。AI は自ら学習している。AI は公開されたコモディティデータと企業が保有するプライベートデータをそれぞれリアルタイムに学習し、その上で推論をしていく」

「以前は世界の時価総額のトップ 10 に多くの日本企業が入っていましたが、インターネットが立ち上がった結果、今では GAFAM に代表される正面からインターネットに取り組んだ企業が世界をリードしています。そのくらいインターネットが世界を変えてきたわけですが、現在はまだ、GDP の一部を占めている広告や小売の世界の話でしかありません。しかし、AGI は人類の叡智の総和の 10 倍、ありとあらゆる産業に影響を与えることになります」

AI の進化がもたらす 10 年後、20 年後の世界の姿。聴き入る会場の聴衆に向けて、孫氏ははっきりとこう言いました。

「ソフトバンクグループを世界で最も AI を活用するグループにしたい」

続けて孫氏は、既にソフトバンクでは多くの業務において AI を導入していること、そして AI 導入に伴う業務効率化によって数値的にも大きな成果が出ていること、さらには社内の AI 活用コンテストで提案件数が 10 万件を突破したこと等を報告しました。

また、孫氏は、AGI が活用された世界における事例を次々と示していきます。

- ・自動車などの、モビリティの完全自動化
- ・小売りや飲食店での、あらゆるデータを活用した完全な需給マッチング
- ・コールセンターでの、顧客の感情を理解し顧客ごとに最適な回答の案内
- ・投資では、数兆通りのシミュレーションから最適な戦略や投資の実行
- ・医療分野での、個人ごとの遺伝子解析によるパーソナライズ医療

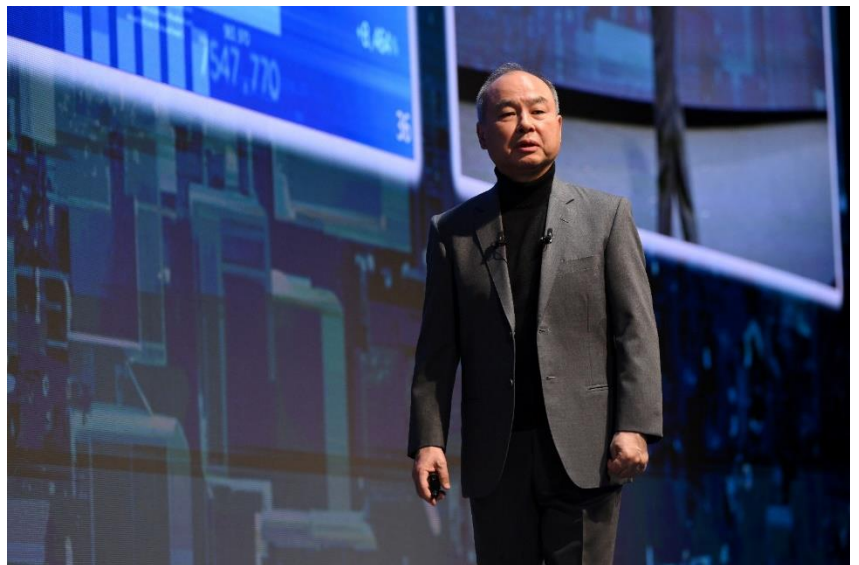
そんな AGI を中心とした世界が今後 10 年以内に訪れると語る孫氏は、さらにその 10 年後には「ASI」の世界になると言います。ASI とは Artificial Super Intelligence の略で、その叡智は人類総和の 1 万倍になるのだと。

「10 倍ということではなく1万倍ということになると、人間対サルではなくて、人間対金魚なんです。金魚のニューロンは人間の約1万分の1ですから、今後 20 年で AI との知能の差は、今の人間対金魚と変わらないくらい広がるということです。

では、我々はどうすれば良いのか。我が社はどうすれば、私はどうすれば良いのかと考える時が来た。地球に生命体が生まれて 40 数億年のこの歴史の中で、今後 10 年間でシンギュラリティが来る。このクロスオーバーの 10 年で自分がどう思うか、自分の会社がどう思うか、自分の国がどう思うかで変わる。小さな議論をしている場合ではなく、もっとでかく全体を見ろと言いたい。今すぐ行動すべきでしょう。人類の進化の源泉は願望にある。強い願望が人類の未来を AGI とともに作る。敵ではなく味方としてあらゆる進化を遂げる。AI を活用するのか、時代に取り残される金魚になるのか。日本よ、目覚めよ」

孫氏が熱く語り終えると、会場には万雷の拍手が起こり、鳴り止むことはありませんでした。

40 数年前、福岡市において、孫氏はたった 2 人の従業員とソフトバンクを立ち上げました。誰も知らない小さな会社でしたが、常に大きな目標に向かって、未知の領域に踏み込み、過去とは違う世界を創造しようと挑戦を重ねた結果、やがて誰もが知る大企業になり、孫氏は豆腐のように「兆」を数える社長になりました。しかし利益だけではなく、人々に夢や希望を与えることを掲げ、未来を見据えて歩み続けてきたその生き方こそ、孫氏が世界に誇るアントレプレナーだと言われる所以なのです。



「SoftBank World 2023」孫社長特別講演写真

【提供 ソフトバンク株式会社】